

A. 新規の意匠登録出願

例：意匠に係る物品の説明：要 図面6図

摘要	数量	単価	税抜計	税込計
出願基本料	1	¥95,000	¥95,000	¥104,500
意匠に係る物品の説明	1	¥12,000	¥12,000	¥13,200
図面代	6	¥5,000	¥30,000	¥33,000
電子化手数料	1	¥5,400	¥5,400	¥5,940
特許印紙代	1	¥16,000	¥16,000	¥16,000
合計			¥158,400	¥172,640

※標準的な案件の条件で計算しており、具体的案件により増減いたします。

B. 拒絶理由通知に対する応答

例：意見書3頁

摘要	数量	単価	税抜計	税込計
引用文献複写代	4	¥50	¥200	¥220
意見書	1	¥70,000	¥70,000	¥77,000
印書代	3	¥7,600	¥22,800	¥25,080
電子化手数料	1	¥3,300	¥3,300	¥3,630
合計			¥96,300	¥105,930

※拒絶理由の内容は予め予見困難で、対処方法及び金額は大きく変動いたします。

C. 登録査定時

摘要	数量	単価	税抜計	税込計
成功報酬	1	¥75,000	¥75,000	¥82,500
料金納付	1	¥25,000	¥25,000	¥27,500
電子化手数料	1	¥1,900	¥1,900	¥2,090
特許印紙代	1	¥8,500	¥8,500	¥8,500
合計			¥110,400	¥120,590

D. 拒絶査定不服審判請求

摘要	数量	単価	税抜計	税込計
審判請求	1	¥190,000	¥190,000	¥209,000
電子化手数料	1	¥1,900	¥1,900	¥2,090
特許印紙代	1	¥55,000	¥55,000	¥55,000
合計			¥246,900	¥266,090

※拒絶理由の内容は予め予見困難で、補正の内容及び金額は大きく変動いたします。

意匠登録出願			
項目	事務所手数料 (税込み)	特許庁手数料	成功報酬額 (税込み)
意匠登録出願料 ※1	¥104,500	¥16,000	¥82,500
意匠図面代(1図あたり)	¥5,500		
意匠写真	実費		
意匠に係る物品の説明	¥16,500		
特徴記載	¥11,000		
電子化手数料	¥1,320		
1枚あたりの加算する額	¥770		
(上限)	¥9,020		
通信費	実費		
特に検討を必要とした場合の検討費用(弊所担当者 に依る)	¥22,000		
(1時間あたり)			
新規性喪失の例外規定適当の申請			
刊行物記載の場合(1事例につき)	¥27,500		
それ以外の場合(1事例につき)	¥44,000		
緊急割増料	50%増し		
当所営業日10日以内の場合			

その他			
早期審査に関する書類の提出	¥148,500		

中間処理			
方式補正	¥16,500		
引用例等複写代(1頁あたり)	¥33		
意見書その他の中間手続	¥77,000		
補正書	¥77,000		
審査官等との面接又はその準備	¥44,000		
印書代(1頁あたり)	¥8,360		
電子化手数料	¥1,320		
1枚あたりの加算する額	¥770		
(上限)	¥9,020		
通信費	実費		
交通費	実費		

審判・情報提供			
項目	事務所手数料 (税込み)	特許庁手数料	成功報酬額 (税込み)
補正却下不服審判請求	¥132,000	¥49,500	¥132,000
拒絶査定不服審判請求	¥209,000	¥49,500	¥209,000
無効審判請求	¥440,000	¥49,500	¥440,000
無効審判事件	¥440,000		¥440,000
審判事件等の中間手続	¥93,500		
早期審理に関する書類の提出	¥82,500		
判定事件	¥319,000	¥40,000	¥319,000
刊行物の提出(情報提供)	¥143,000		
電子化手数料	¥1,320		
1枚あたりの加算する額 (上限)	¥770		
	¥9,020		
刊行物の提出(情報提供)	¥143,000		
通信費	実費		
交通費	実費		

鑑定			
口頭鑑定(出願に関するものを除く)	¥132,000		
書面鑑定(出願に関するものを除く)	¥528,000		
出願に関する口頭鑑定	¥49,500		
出願に関する書面鑑定	¥198,000		

調査			
先行技術調査	3万～		
その他調査	実費		

- ※1 設定登録時には、別途特許庁に対し設定登録料の納付が必要です。
- ※ 上記に規定する以外の手続につきましては、別途ご相談ください。
- ※ 上記に規定する手数料は、実質的に要した仕事の量(頁数あるいは時間)と難易度に応じて増減する場合があります。